

令和7年度地域と学校の連携・協働体制推進事業に係る実績について

太地町教育委員会

令和7年度地域と学校の連携・協働体制推進事業に係る実績の内容及び実績値は以下のとおりです。

記

課題の類型1	学校と家庭の課題
課題の類型2	その他
背景・現状・課題の詳細	家庭内で日常的に学習する習慣が身についている児童生徒が少ない。
解決のために本事業で取り組むこと	放課後の見守り場所を設置し、宿題を行う時間を確保するとともに、大人だけでなく児童生徒同志での問題解決に向けた話し合いができる環境を醸成する。
本事業で達成する目標（アウトカム）	宿題などを含めて家庭内で学習を行う児童生徒が増加する。
目標の達成度を測る指標	「自分でできること」や「役割を果たせたか」等についてアンケートを実施し、できたと答えた割合。
申込人数	51人
本年度の目標（割合）	50%
本年度の実績値（割合）	55%
アウトカムの達成度に関する評価・分析	さまざまな年代の人との交流を通して郷土の理解を深め、自分の役割を自覚し、自ら行動する思考が養われている。